



HigashiMatsushima

SDGs未来都市 東松島市

SDGs ってなに？

まだまだ聞きなれない言葉だと思います。何かを略した言葉だ、ということは何となくお気づきでしょうか。

ちょっと小難しい話になりますが、今、私たちの住む世界は、これまでになかったような多くの問題を抱えています。このままでは、人類が安心して住んでいくことが難しくなるといわれています。そのため、世界中の国の人々が話し合い、問題を整理して、その解決方法を考えました。そして、2030年までに達成する目標として17のゴールを設定しました。それが **SDGs** です。「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」から文字をとって略したものです。世界中のすべての国がこの目標に向けてがんばろうとしています。

SDGsなんて、ちょっと遠い世界のこと？ — そうじゃありません！

SDGsなんて横文字で外国の問題みたいだし、世界規模の問題って、食糧危機とか貧困とか紛争とか気候変動とか大げさなことをいわれても、今の日本の、日々の自分の生活には、あまり関係なさそうな気がします。まあ、ほんとうに大事な問題については、政府や一流企業の偉い人たちがなんとかしてるんじゃないかな……

たしかに、政府がやらないといけないこと、企業がやらないといけないことはたくさんあります。でも、SDGsであつまっている問題は、私たちのとても身近なところにあります。そして、SDGsが目指すものは、市民や子供も含めたすべての人がそれぞれの立場から行動することによって達成されるのです。SDGsのキーワードは、「誰ひとり取り残さない」ことです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



経済のこと、
環境のこと、
社会のこと、
広い分野にわたって目標が掲げられています。

身の回りの SDGs

私たちのすぐ身近なことのなかにも、SDGsにつながる活動がたくさんあります。いきなり難しい問題に挑戦する必要はありません。「世界的に物事を考え、身近なところから活動を始める」ことが大切なのです。

そして、ひとつの問題について考えてみると、他のゴールとも関係してくることがわかります。まずは、身近な問題について、SDGsとどういう関係にあるのか、考えてみることから始めませんか？

たとえば……

ゴミの分別回収 とリサイクル



私たちが普段の生活のなかでおこなっているゴミの分別。SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」は、ゴミのリサイクルと適正な処理を目指しています。ゴミの分別はもちろん、エコバッグを持つなどして不要な消費を減らしたり、リデュース、再利用品を使ったりする（リユース）ことも、このゴールにつながります。また、ゴミをポイ捨てせず、プラスチックを正しく処理することによって、近年問題とされている海洋のマイクロプラスチック汚染の防止にもつながっていきます。

健康な生活習慣 を心がける



日本は、アフリカやアジアの途上国に比べると、医療の質は高く、病院も多く、より多くの予防策や治療が受けられます。しかし、生活習慣病のリスクが高いというような先進国ならではの問題もあります。また、少子高齢化が急速に進み、医療費の増加が社会問題になっています。一人ひとりが日常生活において健康な暮らしを心がけることによって、医療費を削減し、必要な時に必要な人が必要な治療を受けられる社会を維持し、経済にゆとりをもたらし、豊かな社会がつけられていきます。

SDGsであつかわれる分野には、まだまだ色々なものがあります。さらに、SDGsの17のゴールの下には、具体的に内容を示した169のターゲットがあります。より詳しくSDGsについてお知りになりたい方は、以下のホームページをご覧ください。

SDGs とは？ | JAPAN SDGs Action Platform | 外務省

<https://mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/>

2030 アジェンダ | 国連広報センター

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

「SDGs」で検索しても OK！



SDGs のもうひとつのとらえかた
5つのP



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**